

ヤナギドクガ

春から初夏にかけてヤナギやポプラの葉を食べる毛虫（幼虫）。最大長約30mm。体は黒と黄色、背中に赤いコブが2列に並ぶ。

ドクガの名が付くが毒はない。ただし、触ると体毛が皮膚に刺さることがある。まれながら街路樹のポプラで多発する。



1. 幼虫. 1987.



2. 蛹. 1961/9/9. 美咲市, ポプラ.

【学名】 *Leucoma salicis*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , ドクガ科 (Lymantriidae)

【分布】 北海道, 本州; ユーラシア北部, 北アメリカ.

【生態】

宿主：ポプラ類, ドロノキ, ヤナギ類.

年1世代. 春に葉を食べて成長し, 夏に葉上で糸をはって蛹になる. 蛹は夏に成虫になる. 雌成虫は卵を幹や枝にまとめて産み付ける.

発育ステージ	~3月	4	5	6	7	8	9	10	11~
卵 (越冬)	+++	+++	+..			..+++	+++	+++	+++
幼虫 (摂食)			..■■■	■■■■	■■■..				
蛹					..◇◇	◇..			
成虫					..○	○○..			

【被害】

街路樹や公園のポプラでまれに多発するが、一過性で何年も続くことはない。食害により木が枯れた例は報告されていない。

【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病虫害図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真).

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ヤナギドクガ dokuga/yanagido/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/17.

yochu.jpg

「写真1」 鈴木重孝, 北海道立林業試験場, 198?.

sanagi.jpg

「写真2」 上条一昭, 北海道立林業試験場, 1961.